

# 最近の酪農情勢（メモ）

平成 29 年 3 月 17 日  
日本酪農政治連盟

## I 外交交渉

### 1. 日EU・EPA交渉

2013 年 3 月：日EU首脳電話会談で、日EU・EPA交渉開始を決定。

2016 年 5 月：G20伊勢志摩サミットに際し、関係首脳（イタリア、フランス、ベルギー、ドイツ、英国）から、2016 年のできる限り早期の大筋合意に達するとの強いコミットメントを再確認する共同ステートメントを発出。

2016 年 12 月：岸田大臣とマルムストローム欧州委員（貿易担当）との電話会談において、可能な限り早期の大筋合意を目指し、来月（2017 年 1 月）速やかに交渉を開始することで一致。

2017 年 1 月：（自由民主党）日EU経済連携対策議員連盟設立総会を開催。設立の趣旨は「情報開示を求めるとともに、我が国の関心事項が確実に実現できるよう働きかけを行うものとする。」こととし、岡田広氏（参議院議員）を会長に選任した。

## II 平成 29 年度畜産酪農対策

平成 29 年度畜産物価格・関連対策については、①生クリーム等の液状乳製品向け生乳を補給金対象に追加のうえ補給金単価は一本化とし、同単価については生産者が意欲を持てる交付金単価とすること、②交付対象数量は国内の乳製品の需給状況を考慮し適切に決定すること、③加工原料乳等生産者経営安定対策事業は継続すること、などを要請した。

結果は、補給金単価が 10.56 円、対象数量は 350 万トン、所要額は 370 億円（前年は 306 億円）となった。尚、生産コストの算定に当たっては、平成 25 年から 27 年までの「牛乳生産費調統計（農林水産省統計部）の北海道の各統計データが採用され、廃用牛と子牛価格については、直近 7 年平均のデータが採用された。

【指定食肉の安定価格】 牛肉 [安定上位価格 1215(1155)円/kg、  
安定基準価格 900(890)円/kg]

【指定肉用子牛】	保証基準価格	合理化目標価格
乳用種	136,000 円/頭（133,000 円）	93,000 円/頭（90,000 円）
交雑種	210,000 円/頭（205,000 円）	152,000 円/頭（147,000 円）

## III 平成 29 年度政府農林予算 2 兆 6350 億円(対前年比 114%)で決定（概算要求） （他に補正で 5739 億円）

平成 28 年 8 月 2 日の常任中央合同委員会を経て要請内容を決定、特に本年度は①後継牛確保対策、②自給飼料対策、③経営安定対策、④その他対策（畜産クラスター関連事業における十分な予算の確保、酪農ヘルパー事業への支援継続）、⑤その他：指定生乳生産者団体制度の存続及び機能強化、を重点項目とし、要請運動を継続して展開した。これらの要請活動の結果、以下の事業が政府案として決定した。

## 主な酪農関連対策

### ①農業競争力強化プログラム

#### 畜産・酪農の生産基盤強化

- ・畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 {685 億円 (610)} (畜産クラスター関連事業)
- ・畜産・酪農生産力強化対策事業 {16 億円 (30)}
- ・畜産経営体質強化支援資金融通事業 {17 億円 (20)}

#### 自給飼料の生産拡大

- ・飼料生産基盤利活用促進緊急対策事業 {9 億円 (7)}
- ・飼料増産総合対策事業 {10 億円 (10)}
- ・飼料生産型酪農経営支援事業 {70 億円 (68)}

#### 酪農家の働き方改革

- ・酪農経営体生産性向上緊急対策事業 {60 億円} **新規**

### ②ALIC対策

- ・酪農経営支援総合対策事業 {41 億円 (40)}

### ③畜産・酪農経営安定対策

- ・加工原料乳生産者補給金 {370 億円 (306)}
- ・肉用子牛生産者補給金 {199 億円 (203)}
- ・肉用牛繁殖経営支援事業 {176 億円 (169)}
- ・肉用牛肥育経営安定特別対策事業 {869 億円 (869)}

### ④その他

- ・鳥獣害防止総合対策交付金 {97 億円 (97)}

## IV ホクレン、平成 29 年度プール乳価を 60 銭値上げで決着

28 年 12 月 12 日、ホクレンは平成 29 年度乳価について、乳業メーカーとの平成 29 年度乳価交渉の結果、バター・脱脂粉乳など向けを前年度より 1k g 当たり 1 円、チーズ向けを同 1～2 円引きあげると発表した。その他の用途は据え置く。生産者に支払う平均乳代（プール乳価）は同 60 銭上がるものと見込むと発表した。

## V 酪農家戸数 17,000 戸 (28. 2/1 現在 畜産統計。農水省 7/5 発表) ( ) 内は前年

	酪農家戸数[戸]	乳牛飼養頭数[千頭]	一戸当たり飼養頭数[頭]
全 国	17,000 (17,700) 4.0%減	1,345 (1,371) 1.9%減	79.1 (77.5) 2.1%増
北海道	6,490 (6,680) 2.8%減	786 (792) 0.8%減	121.1 (118.6) 2.1%増
都府県	10,500 (11,020) 4.7%減	559 (579) 3.5%減	53.3 (52.6) 1.3%増

## VI 牛白血病(BLV)に対する家畜共済の取扱いの見直しについて

【取扱いの変更点】

	現行	見直し後
農場で牛白血病と診断されて廃用となった場合	○	○ (一部免責あり)
と畜場において牛白血病と診断されて全廃棄となった場合	×	○ (一部免責あり)

○共済金対象 ×共済金支払対象外

### 【免責基準】

(1) 以下を実施していない場合には、全国一律に共済金の4割を免責する。

- ①同一の注射針を複数の牛に用いないこと
- ②直腸検査及び人工授精時に使用する直検手袋を1頭ごとに必ず交換すること
- ③妊娠鑑定時に用いるエコープローブをカバーで被覆して1頭ごとにそのカバーを交換すること
- ④使用後の除角器具、去勢器具、削蹄器具、耳標・鼻環の装着器等は、一頭ごとに別々の容器で洗浄、消毒して使用すること

(2) と畜場から牛白血病による全廃棄の連絡を受けたのち、3日以内に組合等に損害発生通知がなかった場合は、全国一律に共済金の1割を免責する。

## VII 配合飼料価格 (配合飼料給与、3.3t/年・頭→1万円上がれば33,000円の負担増)

- 20年10～12月期、配合飼料価格最高値67,600円(生産者負担59,950円)を記録。
- シカゴ穀物20年8月より下げに転じたが、農家への値下げ反映は21年1月より。
- 24年10月より再び急騰し、26年10～12月一時値下げも次期反発し、高止まり状態。
- 27年1～3月期2,550円上げ。円安に加え主原料の値上がりが要因。
- 27年4～6月期750円下げ。7～9月期1,800円下げ。10～12月期据え置き。
- 28年1～3月期700円下げ。4～6月期3,700円下げ。7～9月期800円上げ。
- 28年10～12月期1,650円下げ。
- 29年1～3月期1,950円上げ。

## VIII 最近の酪政連活動 《主な活動、下記は一例です。》

政府・国会 その他	酪政連・関係機関
1/6(火) 乳業新年会〔グラパレス〕	11/7(金) 畜産NW.TPP派遣団(北京)⇒11日(火)
1/6(火) 中畜新年賀詞交換会〔ガーパレス〕	11/12(水) 畜産ネットワークTPP北京報告会〔中畜会議室〕
1/7(水) 畜酪、めぐる情勢・団体要請	11/21(金) 三役会議、常・中合同委員会〔自民党本部〕
1/8(木) 畜酪、自由討議 1/9～11 畜酪現地視察、熊本・北海道	12/22(月) 全中と打合せ〔酪農会館〕
1/9(金) 27予算、1400会合、15時報告、16時大臣激励会	12/25(木) 三役会議〔自民党本部5階ブロック第一〕
1/13(火) 大臣折衝報告	12/25(木) 九州酪政連上京
1/13(火) 畜酪、一任取付け	1/7(水) 900畜産振興議員連盟、団体要請〔101〕
1/13(火) 酪政会、団体要請〔901〕	1/7(水) 1000三役、1100常中合同委員会〔参-B107〕
1/13(火) 畜酪役員会、方向性の検討〔705〕	1/13(火) 酪政会、団体要請〔901〕
1/14(水) 畜酪役員会、団体呼び込み〔705〕	1/26(月) 1200三役会議〔砂防会館本館3F筑後〕
1/14(水) 畜酪、報告〔704〕	2/3(火) 1000外交経済連携・TPP合同会議〔901〕
1/14(水) 2015年度予算案を閣議決定	2/12(木) 1500畜産ネット、幹事会〔中畜会議室〕
	2/12(木) 1830谷津・松島局長・佐藤官房長・佐藤農村振興局長と要請懇談会
	2/17(火) 1430事務局長会議

<p>2/16(月) TPP政府説明会〔三田共用会議所〕</p> <p>5/15(金) TPP政府説明会〔品川区 きゅりあん〕</p> <p>7/9(木) 畜酪、生乳流通・取引体制等検討WT取り纏め(報告)</p> <p>7/22(水) 自由民主党 TPPにおける国益を守り抜く会(901)</p> <p><b>7/28(火)～7/31(木)ハワイ・マウイ島にてTPP関係人会合</b></p> <p><b>10/5(月)米国アトランタで開催されたTPP関係人会合にて大筋合意</b></p> <p>11/13(金)税制改正、団体要請〔901〕</p> <p>11/17(火)自民党、TPP対策案(取り纏め)</p> <p>11/25(水)政府、総合的なTPP関連対策大綱</p> <p>12/17(木)合同会議 平成27年度補正予算他</p> <p>12/18(金)畜酪、報告〔704〕</p> <p>3/31(木)政府規制改革会議の農業ワーキンググループは生乳の指定団体制度の廃止を提言。</p> <p>4/14(木)自民党 農林水産戦略調査会、農林部会、畜産・酪農対策小委員会は指定団体制度廃止は受け入れられない旨の決議を採択</p> <p>5/17(火)自由民主党東北酪政会総会;指定団体制度廃止は受け入れられない旨の決議を採択</p> <p>5/18(水)農林水産戦略調査会・農林部会・畜産・酪農小委員会合同会議 規制改革会議に関する答申(指定生乳生産者団体制度)</p> <p>7/10(日)第24回参議院議員通常選挙 投開票</p> <p>8/26(金)自民党 農林水産戦略調査会、農林部会、農政推進協議会 合同会議:平成29年度概算要求 団体要請</p> <p>10/19(水)0800自民党畜酪小委員会 指定団体関係ヒアリング(生産者から)</p> <p>10/19(水)1700自民党酪政会総会〔参議院議員会館〕</p> <p>10/26(水)0800自民党畜酪小委員会 指定団体関係ヒアリング(関係団体から)</p> <p>10/31(月)1400自民党畜産振興議員連盟総会 平成29年度酪農政策・予算確保に関する要請</p> <p>11/2(水)自民党 農林食料戦略調査会、食料産業調査会、農林部会、農林水産関係団体委員化、農政推進協議会 合同会議:平成29年度税制改正に関する 団体要請</p> <p>11/25(金)自民党 農林食料戦略調査会、農林部会、農林水産業骨太方針策定PT、農業基本政策検討PT、畜産・酪農対策小委員会 合同会議:農業競争力強化プログラム取り纏め</p> <p>12/12(月)1630 自民党畜酪小委員会にて、平成29年度畜産物価格。酪農対策に関する要請を実施</p> <p>12/16(金)畜酪、報告〔901〕</p> <p>12/19(月)自民党 農林食料戦略調査会、農林部会、合同会議:平成29年度農林水産関係予算について、及び日 EU・EPA交渉の状況について</p> <p>1/16(月)日 EU経済連携対策議員連盟第1回総会</p> <p>1/23(月)日 EU経済連携対策議員連盟第2回総会</p> <p>2/17(金)自民党 農林食料戦略調査会、農林部会、畜産・酪農対策小委員会 合同会議:加工原料乳生産者補給金制度改革</p>	<p>2/18(水)1730葉梨康弘先生と馬瀬口・三国・斎藤、要請懇談〔黒座暁楼〕</p> <p>2/19(木)1500畜産ネットワーク〔中畜会議室〕</p> <p>2/26(木)1330牛白血病打合せ〔衆2-1階第6面談室〕</p> <p>2/26(木)1530畜産ネットワーク〔中畜会議室〕</p> <p>3/5(木)1000三役会議〔ルポール麹町〕</p> <p>3/5(木)1100常任中央合同委員会〔ルポール麹町〕</p> <p>3/5(木)1300通常総会〔ルポール麹町〕</p> <p>3/11(水)1140畜産NW林芳正農水相訪問〔1130大臣室前〕</p> <p>3/12(木)1200畜産ネットワーク幹事会〔中畜会議室〕</p> <p>3/13(金)1500関東酪政連研修会〔八重洲.アットビジネス〕</p> <p>4/16(木)1230三役会議〔酪農協会〕</p> <p>5/11(月)1100三役会議・常任中央合同委員会〔自民党本部〕</p> <p>5/11(月)1100財務省主計局要請活動</p> <p>6/17(水)1300三役会議・常任中央合同委員会〔自民党本部〕</p> <p>6/18(木)1000農林水産省生産局長、畜産部長に28年度酪農政策要請</p> <p>7/23(木)畜産ネットワーク代表者集会〔自民党本部901〕</p> <p><b>7/31(金)日本酪農危機突破総決起大会〔自民党本部大ホール〕</b> 1,000人参加(永田町～日比谷公園にデモ行進)</p> <p>8/11(火)1200三役会議</p> <p>8/31(月)1200三役会議</p> <p>9/1(火)要請活動を実施</p> <p>9/17(木)1200三役会議</p> <p>10/7(水)1000三役会議・常任中央合同委員会〔自民党本部〕</p> <p>11/9(月)1300森山農林水産大臣に面会・要請</p> <p>11/9-10(火)伊東良孝副大臣、齋藤健副大臣に面会・要請</p> <p>12/3(木)1000三役会議・常任中央合同委員会〔自民党本部〕</p> <p>1/21(木)1300三役会議</p> <p>2/18(木)1430事務局長会議</p> <p>3/4(金)1300総会</p> <p>4/6(水)指定生乳生産者団体制度の存続に関する緊急要請を実施</p> <p>4/14(木)自民党 農林水産戦略調査会、農林部会、畜産・酪農対策小委員会に対し、指定生乳生産者団体制度の存続に関する緊急要請を実施</p> <p>4/15(金)1200三役会議</p> <p>5/16(月)1100三役会議・常任中央合同委員会〔自民党本部〕</p> <p>6/3(金)1500関東酪政連協議会総会〔八重洲ホール〕</p> <p>6/10(金)0900三役会議</p> <p>7/20(水)1000三役会議</p> <p>8/2(火)1300合同委員会:平成29年度酪農政策・予算確保に関する要請を決定</p> <p>9/8(木)1200三役会議</p> <p>9/26(月)酪政連事務所を全理連ビル3階に移転</p> <p>10/12(水)1600三役会議</p> <p>10/19(水)1100三役会議・1300常任中央合同委員会〔全理連ビル〕</p> <p>11/14-15三役により、農林幹部に対する要請活動、(指定生乳生産者団体制度の存続に関する要請を実施)</p> <p>12/1(木)合同委員会:指定団体制度について(報告)平成29年度畜産物価格。酪農対策に関する要請を決定</p> <p>1/25(水)緊急三役会議</p> <p>2/13(月)緊急三役会議</p> <p>2/14(火)1430事務局長会議</p> <p>2/21(火)1300合同委員会:加工原料乳生産者補給金制度改革の進捗、日EU、EPA交渉、米国とのFTA交渉の状況について</p> <p>3/6(月)1100三役会議〔自由民主会館〕</p> <p>3/6(月)1300常任中央合同委員会〔自由民主会館〕</p> <p>3/6(月)1400通常総会〔自由民主会館〕</p>
---	---

# I 生乳・牛乳・乳製品等の動向

## 1. 生乳受託販売量・用途別処理量〔中央酪農会議、年度・月別〕

〔単位：千トン、(前年同月比%)〕

年度月	合計		北海道		都府県		飲用向け		発酵乳等向		特定乳製品向		生クリーム等向		チーズ向	
	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%
25	7,186.3	98.05%	3,760.9	98.29%	3,425.4	97.78%	3,308.2	98.71%	493.5	99.80%	1,603.9	91.85%	1,302.4	101.95%	478.3	104.02%
26	7,066.7	98.34%	3,732.2	99.24%	3,334.5	97.35%	3,271.2	98.88%	446.2	90.42%	1,538.0	95.89%	1,348.9	103.57%	462.4	96.68%
27	7,122.1	100.78%	3,805.3	101.96%	3,316.8	99.47%	3,261.8	99.71%	451.8	101.26%	1,637.1	106.44%	1,341.8	99.47%	429.6	92.92%
28.3	618.7	100.03%	326.9	101.75%	291.9	98.18%	260.0	99.53%	39.0	106.96%	168.7	105.23%	113.9	94.57%	37.1	92.62%
4	606.5	100.81%	320.0	102.79%	286.5	98.69%	263.8	99.50%	38.2	100.30%	155.5	103.15%	113.7	92.50%	35.2	101.60%
5	630.2	100.51%	336.4	102.19%	293.8	98.64%	288.3	100.10%	40.6	100.87%	152.1	101.90%	112.2	98.35%	36.9	104.45%
6	603.0	100.27%	328.6	102.17%	274.3	98.08%	289.4	99.79%	39.7	100.52%	127.7	103.10%	109.5	98.11%	36.7	100.78%
7	606.2	100.49%	333.8	102.26%	272.4	98.40%	283.1	102.23%	40.9	101.75%	130.8	99.33%	114.4	99.96%	36.9	92.44%
8	586.2	99.82%	321.7	100.30%	264.5	99.25%	267.0	100.26%	40.4	102.18%	129.0	99.34%	112.0	99.52%	37.7	96.88%
9	563.6	99.01%	306.3	99.39%	257.2	98.56%	293.9	104.70%	36.8	99.24%	89.0	85.06%	110.9	98.83%	32.9	95.45%
10	576.8	99.27%	311.2	99.39%	265.7	99.13%	292.4	101.75%	37.5	100.06%	99.1	93.56%	113.8	98.50%	34.0	97.90%
11	555.6	98.35%	296.7	97.94%	258.9	98.81%	272.9	99.93%	35.9	100.35%	103.8	95.09%	113.5	100.64%	29.4	86.44%
12	583.4	98.25%	311.9	98.10%	271.5	98.42%	253.1	99.70%	35.1	101.78%	150.8	95.56%	113.8	100.97%	30.6	87.51%
29.1	594.4	98.59%	316.9	98.29%	277.5	98.94%	269.7	102.98%	36.4	101.86%	143.1	87.45%	107.9	102.35%	37.2	103.03%
2	542.6	94.86%	288.7	94.74%	254.0	94.99%	254.5	98.25%	33.7	96.62%	117.0	82.58%	101.7	98.22%	35.6	108.55%
28.4-2	6,448.4	99.14%	3,472.1	99.82%	2,976.3	98.36%	3,028.2	100.86%	415.2	100.53%	1,398.0	95.21%	1,223.6	98.84%	383.3	97.66%

## 2. 生乳生産量・用途別処理量〔農水省、年度・月別〕

〔単位：千トン、(前年同月比%)〕

年度月	生乳生産量						処理内容							市乳化率 (B/A)	
	合計[A]		北海道		都府県		牛乳等向け			乳製品向け		その他			
	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	[B]	うち業務用向け	前年同月比%	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%		
25	7,447.0	97.88%	3,848.6	97.91%	3,598.4	97.85%	3,964.6	98.85%	310.5	100.81%	3,425.5	96.82%	56.9	97.10%	53.24%
26	7,331.1	98.44%	3,820.2	99.26%	3,510.9	97.57%	3,910.3	98.63%	303.198	97.65%	3,361.5	98.13%	59.4	104.39%	53.34%
27	7,407.3	101.04%	3,897.1	102.01%	3,510.2	99.98%	3,953.2	101.10%	314.6	103.77%	3,398.5	101.10%	55.6	93.50%	53.37%
28.2	595.3	103.94%	313.0	105.76%	282.3	101.99%	313.5	104.99%	24.7	112.30%	277.2	102.96%	4.5	93.06%	52.67%
3	644.1	100.33%	335.8	101.96%	308.3	98.61%	321.2	100.82%	26.5	102.45%	318.3	99.94%	4.6	93.60%	49.86%
4	630.4	100.86%	328.1	103.07%	302.3	98.57%	323.3	100.27%	25.3	98.59%	302.6	101.56%	4.5	97.00%	51.29%
5	653.4	100.69%	343.7	102.72%	309.7	98.52%	350.1	100.80%	25.9	103.58%	298.9	100.69%	4.3	92.51%	53.58%
6	626.3	100.27%	336.8	102.48%	289.5	97.81%	350.4	100.38%	23.7	96.79%	271.7	100.27%	4.2	91.28%	55.94%
7	631.3	100.41%	343.2	102.46%	288.1	98.08%	345.2	102.11%	23.9	96.51%	281.8	98.59%	4.2	89.10%	54.69%
8	610.4	100.32%	330.5	101.57%	280.0	98.88%	328.8	101.88%	24.4	99.94%	277.3	98.65%	4.3	93.00%	53.87%
9	585.5	98.76%	313.9	99.24%	271.7	98.22%	349.1	103.30%	27.1	98.88%	232.0	92.74%	4.3	92.76%	59.63%
10	600.5	99.52%	319.4	99.83%	281.1	99.18%	350.4	101.87%	27.5	92.39%	245.5	96.35%	4.6	99.63%	58.35%
11	579.4	98.45%	305.5	98.19%	273.9	98.75%	330.3	100.52%	28.5	96.05%	244.9	95.91%	4.2	92.00%	57.00%
12	609.9	98.35%	322.2	98.13%	287.8	98.59%	312.1	100.35%	27.2	96.75%	293.6	96.42%	4.2	90.25%	51.18%
29.1	618.1	98.55%	324.3	98.12%	293.8	99.04%	320.3	100.93%	24.6	101.93%	293.6	96.17%	4.2	92.43%	51.82%
28.4-1	6,145.2	99.63%	3,267.6	100.60%	2,877.7	98.56%	3,360.1	101.25%	258.102	97.98%	2,742.0	97.83%	43.2	92.97%	54.68%

## 3. 飲用牛乳等生産量〔農水省、年度・月別〕

〔単位：千ℓ、(前年同月比%)〕

年度月	飲用牛乳等															
	合計		牛乳		加工乳・成分調整牛乳						乳飲料		醗酵乳		乳酸菌飲料	
	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	合計	加工乳	成分調整牛乳	前年同月比%	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%
25	3,501.9	98.73%	3,026.2	99.30%	475.7	95.22%	127.9	91.10%	347.8	96.83%	1,366.1	101.55%	1,006.0	101.84%	152.1	93.66%
26	3,455.1	98.66%	2,994.4	98.95%	460.7	96.85%	117.5	91.90%	343.2	98.67%	1,322.4	96.80%	1,004.6	99.86%	144.5	95.00%
27	3,465.6	100.30%	3,013.9	100.65%	451.7	98.03%	102.9	87.55%	348.7	101.62%	1,291.0	97.63%	1,077.5	107.26%	145.3	100.55%
28.2	276.9	104.36%	242.2	104.55%	34.7	103.05%	8.5	96.09%	26.1	105.55%	87.2	95.58%	89.0	115.21%	9.9	93.07%
3	278.6	99.32%	242.1	99.22%	36.5	100.01%	9.0	97.15%	27.4	100.99%	97.7	94.44%	95.6	107.15%	10.5	88.57%
4	281.0	99.70%	245.0	99.85%	36.0	98.70%	8.6	104.14%	27.4	97.10%	101.8	94.97%	96.7	108.55%	13.6	92.96%
5	304.0	101.32%	266.4	102.02%	37.6	96.60%	8.8	106.09%	28.8	94.03%	109.0	92.62%	99.2	107.33%	13.2	87.91%
6	302.6	99.68%	266.4	100.38%	36.2	94.78%	7.3	90.91%	28.9	95.80%	108.5	93.79%	94.8	101.13%	12.9	88.10%
7	297.6	101.00%	259.3	101.73%	38.3	96.36%	7.9	99.37%	30.5	95.61%	117.0	95.05%	92.9	100.38%	13.4	92.91%
8	286.8	102.78%	247.6	103.63%	39.2	97.70%	8.1	99.07%	31.1	97.35%	117.6	96.41%	90.9	104.87%	13.5	107.52%
9	304.9	101.56%	267.3	102.22%	37.6	97.05%	8.1	96.77%	29.5	97.12%	112.6	96.02%	89.8	101.13%	11.3	101.94%
10	308.8	100.97%	271.5	101.66%	37.3	96.19%	8.2	96.58%	29.0	96.08%	107.7	94.03%	92.3	103.47%	11.2	101.01%
11	291.9	101.05%	256.4	101.59%	35.5	97.32%	8.9	98.25%	26.6	97.01%	92.7	92.14%	87.3	102.17%	10.4	93.74%
12	280.3	100.57%	244.1	100.91%	36.2	98.31%	9.9	98.87%	26.3	98.10%	91.0	96.24%	84.8	101.74%	10.1	97.26%
29.1	287.1	103.52%	249.6	103.53%	37.5	103.46%	9.2	104.01%	28.3	103.29%	90.0	96.35%	87.9	96.09%	9.7	96.95%
28.4-1	2,945.0	101.20%	2,573.6	101.74%	371.4	97.60%	84.849	99.43%	286.514	97.07%	1,048.0	94.75%	916.7	102.67%	119.4	95.50%

#### 4. バター、脱脂粉乳の生産・在庫状況

■29年1月の生産量：バター6.0千トン(前年比88.6%)、脱脂粉乳11.2千トン(前年比88.4%)

■29年1月末在庫量：バター26.6千トン(前年比126.2%)≪6.2カ月≫、脱粉50.5千トン(前年比89.8%)≪5.0カ月≫

(参考：29年度1月推定出回り量、バター4.27千トン、脱粉10.20千トン)

	バター生産		脱脂粉乳	
	千トン	%	千トン	%
24年度	70,118	111.17%	141,431	104.83%
25年度	64,302	91.71%	128,818	91.08%
26年度	61,649	95.87%	120,921	93.87%
27年度	66,299	107.54%	130,187	107.66%
28.2	5,938	113.52%	10,964	108.76%
3	6,879	110.31%	13,407	102.07%
4	6,505	107.53%	12,480	108.29%
5	6,437	106.41%	11,486	99.67%
6	5,393	108.30%	9,608	100.30%
7	5,443	102.40%	10,033	99.00%
8	5,353	103.92%	9,850	99.36%
9	3,585	84.56%	7,330	85.18%
10	4,018	91.34%	7,915	93.78%
11	4,161	98.85%	8,828	96.93%
12	5,695	92.21%	13,084	94.18%
29.1	6,030	88.62%	11,154	88.43%
28.4-1	52,618	98.39%	101,767	96.17%

■平成29年1月の大口需要向価格(前年比)：バター[1kg]1,351円(99.1%)、脱脂粉乳[25kg]17,537円(100.0%)

#### 5. 生乳・生産物・配合飼料価格の推移(前年同月比)

	総合乳価 [円/10kg]		乳廃牛 [円/生体1kg]		子牛(千円/頭)						乳用牛配合飼料 (千円/ばら1トン)	
	千円	%	千円	%	ホルオス		交雑種		ホルメス		千円	%
23年度	893	100.10%	171	109.60%	37.5	111.30%	117.1	92.40%	203.2	110.30%	62.9	106.10%
24年度	903	101.12%	152	88.89%	32.4	86.40%	103.4	88.30%	220.4	108.46%	62.9	100.00%
25年度	910	100.78%	205	134.87%	46.5	143.52%	143.2	138.49%	217.2	98.55%	70.6	112.24%
27.12	1,018	102.83%	309.9	111.80%	105.4	272.56%	222.0	154.17%	341.1	140.83%	71.9	99.81%
28.2	1,003	104.05%	302.6	96.31%	109.3	238.59%	222.4	156.40%	387.7	170.19%	70.9	94.47%
3	1,006	103.93%	297.1	89.51%	108.4	214.19%	229.9	150.36%	394.7	166.82%	70.7	94.46%
4	994	103.76%	318.7	98.27%	113.8	191.68%	245.3	135.90%	388.4	153.70%	67.5	91.76%
5	996	100.40%	314.8	87.25%	126.2	168.15%	250.3	134.93%	398.5	154.40%	67.4	91.71%
6	1,001	100.81%	327.7	88.76%	128.5	145.08%	262.8	124.96%	374.9	144.75%	67.4	91.71%
7	1,017	100.49%	312.0	94.46%	119.1	141.23%	277.1	128.29%	377.8	148.68%	68.5	95.19%
8	1,018	100.59%	305.0	88.41%	99.9	146.09%	267.1	124.81%	367.2	136.10%	68.5	95.21%
9	1,014	100.60%	340.1	110.14%	87.6	129.72%	246.9	121.09%	450.3	171.87%	68.5	95.21%
10	1,037	100.39%	313.3	102.12%	87.6	114.81%	237.3	114.64%	493.1	174.61%	67.3	93.64%
11	1,033	100.49%	308.8	92.59%	93.9	100.60%	252.9	121.59%	447.7	133.09%	67.4	93.81%
12	1,029	101.08%	279.5	90.19%	89.3	84.72%	255.9	115.27%	480.2	140.78%	67.4	93.79%
29.1	1,003	100.91%	281.8	87.00%	81.6	76.76%	251.5	115.42%	430.7	129.81%	67.5	95.16%

資料：農林水産省「農作物価統計」

注：1.平成8年度以降の総合乳価平均価格は牛乳乳製品課推計。

2.乳廃牛価格は、中央卸売市場の乳用メス(乳用種)枝肉C1の平均価格であり、年度平均は各月の単純平均。

3.乳子牛価格について、ホルオスは生後7～10日、ホルメスは生後6カ月程度。F1オスについては、道内11市場における加重平均。

4.配合飼料価格は、小売店頭等での購入価格。

5.( )内は年度平均価格については対前年度比、月平均価格については対前年同月比。

## II 牛肉、子牛価格の動向

(1) 12月推定出回り量80.3千トン(前年比105.2%)、推定期末在庫107.9千トン(前年比81.5%)

年度月	生産量		輸入量		国内生産量の割合	推定出回り量					
						合計		うち輸入量		うち国産品	
25	354,030	98.41%	535,545	105.90%	39.80%	867,003	100.96%	515,480	103.30%	351,523	97.72%
26	351,555	99.30%	516,313	96.41%	40.51%	846,265	97.61%	492,855	95.61%	353,409	100.54%
27	332,408	94.60%	487,098	94.40%	40.56%	829,347	98.00%	500,834	101.60%	328,513	93.00%
28.2	25,394	97.11%	32,881	92.90%	43.58%	58,275	86.67%	32,881	81.52%	25,394	94.40%
3	25,914	92.97%	36,134	102.84%	41.76%	66,416	107.74%	41,155	123.12%	25,261	89.52%
4	28,070	96.28%	52,176	90.17%	34.98%	81,636	102.79%	53,448	106.11%	28,188	97.04%
5	25,248	99.66%	46,399	109.97%	35.24%	66,351	106.77%	40,791	108.95%	25,560	103.47%
6	25,845	95.08%	39,383	100.64%	39.62%	62,027	100.16%	36,165	102.04%	25,862	97.66%
7	28,250	94.02%	57,861	124.69%	32.81%	81,842	107.19%	54,587	115.58%	27,255	93.59%
8	25,631	100.86%	38,717	108.30%	39.83%	63,597	99.94%	37,804	97.88%	25,793	103.11%
9	26,387	98.98%	42,300	91.89%	38.42%	71,084	99.74%	45,111	100.58%	25,973	98.32%
10	27,186	94.21%	41,249	99.30%	39.73%	76,746	105.94%	50,042	114.33%	26,704	93.14%
11	32,619	99.88%	43,680	97.65%	42.75%	79,307	102.02%	46,894	103.78%	32,413	99.58%
12	30,336	96.20%	45,080	121.91%	40.22%	80,300	105.21%	50,045	110.72%	30,255	97.20%
29.1	24,378	100.50%	34,705	126.37%	41.26%	61,691	107.34%	36,692	111.20%	24,999	102.12%
28.4-1	273,950	97.46%	441,550	105.61%	38.29%	724,581	103.70%	451,579	107.24%	273,002	98.34%

(2) 乳子牛(ホルスタイン)価格の推移 <農水省農産物価指数>

[単位:円/頭(前年同月比%)]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
27	41,170	45,810	50,610	59,370	75,050	88,570	84,330	68,370	67,520	76,290	93,380	105,400	71,323
	97.51%	94.26%	93.76%	103.63%	130.41%	148.81%	160.69%	167.70%	192.09%	241.35%	285.65%	272.56%	155.46%
28	106,300	109,300	108,400	113,800	126,200	128,500	119,100	99,880	87,590	87,610	93,940	89,250	105,823
	258.20%	238.59%	214.19%	191.68%	168.15%	145.08%	141.23%	146.09%	129.72%	114.84%	100.60%	84.68%	148.37%
29	81,570												6,798
	76.74%												6.42%

■肉用子牛基金:27年度→乳用種=保証基準価格130,000円、合理化目標価格88,000円、交雑種=同199,000円、同144,000円。28年度→乳用種=保証基準価格133,000円、合理化目標価格90,000円、交雑種=同205,000円、同147,000円。29年度→乳用種=保証基準価格136,000円、合理化目標価格93,000円、交雑種=同210,000円、同152,000円。

補給金交付単価は、24第1四半期:乳用種34,350円、第2四半期:乳用種24,100円、第3四半期:乳用種18,200円、第4四半期:乳用種10,600円、  
25年度、26年度、27年度共に全期間補填実績なし  
28年度、第1四半期乳用種0円、第2四半期:乳用種0円。

## III 飼料等の動向

・配合飼料価格:平成29年1~3月はトン1,950円値上げ(全農)。主として為替相場が円安となったことが原因で値上げとなった。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
27	75,010	75,090	74,890	73,510	73,480	73,480	71,960	71,950	71,950	71,870	71,850	71,860
	106.88%	107.01%	106.70%	100.08%	100.01%	100.12%	96.71%	96.69%	96.69%	99.69%	99.79%	99.81%
28	70,940	70,940	70,740	67,450	67,390	67,390	68,500	68,510	68,500	67,300	67,400	67,440
	94.57%	94.47%	94.46%	91.76%	91.71%	91.71%	95.19%	95.22%	95.21%	93.64%	93.81%	93.85%
29	67,510											
	95.16%											

■配合飼料販売価格の改定幅と補填の実施状況

[単位:円/トン(補填交付金)]

	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
23	3,200(3,000)	1,800(4,700)	1,300(4,700)	▲1,000(2,100)
24	▲2,600(0)	900(0)	900(350)	4,350(5,450)
25	0(4,300)	3,200(5,800)	1,300(5,050)	▲2,750(700)
26	▲500(0)	1,300(0)	800(0)	▲2,650(800)
27	2,550(800)	▲750(0)	▲1,800(0)	0(0)
28	▲700(0)	▲3,700(0)	800(0)	▲1,650(0)
29	1,950(未定)			

## ■米国産穀物の今年度需給見通し(米国農務省3月9日発表)

<期末在庫>大豆は生産が横ばい、需要は微減となったことから在庫予想はやや増加となった。小麦は生産が横ばい、需要が微増となったことから在庫予想は減少となった。トウモロコシは生産、需要共にほぼ横ばいとなったことから、在庫予想は横ばいとなった。

- \* 大豆……………前月予想をやや上回る(前年比221%)
- \* 小麦……………前月予想とほぼ同じ(前年比116%)
- \* トウモロコシ……前月予想と同じ(前年比134%)

<需給>

	生産 1億1,721万トン
大豆	需要 1億1,140万トン
	(9/1~8/31) 在庫率10.6% 期末在庫1,140万トン(前年比221%)
	生産 6,286万トン
小麦	需要 6,181万トン
	(6/1~5/31) 在庫率 49.7% 期末在庫3,073万トン(前年比116%)
	生産 3億8,478万トン
トウモロコシ	需要 3億7,137万トン
	(9/1~8/31) 在庫率 15.9% 期末在庫5,983万トン(前年比134%)

### ■シカゴ相場〔ドル/ブッシェル〕

### ■為替相場〔東京・銀行間直物中心、円/ドル〕

	トウモロコシ	大豆	小麦		対ドル 円相場
12年	6.95	14.66	7.51	12年	82.89
13年	5.78	14.07	6.84	13年	100.16
15年	3.77	9.45	5.07	15年	120.13
2015年10月	3.83	8.91	5.07	10月	120.06
11月	3.66	8.68	4.95	11月	122.54
12月	3.69	8.80	4.74	12月	121.84
2016年1月	3.62	8.80	4.73	2016年1月	118.25
2月	3.63	8.71	4.60	2月	115.02
3月	3.63	8.90	4.64	3月	113.07
4月	3.73	9.63	4.71	4月	109.88
5月	3.89	10.57	4.65	5月	109.15
6月	4.10	11.46	4.75	6月	105.49
7月	3.43	10.63	4.19	7月	103.90
8月	3.23	10.08	4.07	8月	101.27
9月	3.29	9.69	3.91	9月	102.04
10月	3.49	9.75	4.09	10月	103.82
11月	3.45	10.03	4.03	11月	108.18
12月	3.50	10.21	3.97	12月	115.95
2017年1月	3.62	10.33	4.24	1月	114.73
3月10日	3.60	10.00	4.20	3月15日	114.85

### ■海上運賃〔米ガルフ→日本、穀物、パナマックス(5~8万トン級)、ドル/トン〕

【20年度93.37 21年度70.26 22年度61.23 23年度51.57 24年度45.75】  
 26年1/30=50.61、2/27=46.54、3/27=46.50、4/14=42.95、5/30=44.17、6/24=41.28、7/29=41.74、  
 8/12=39.44、9/1=44.86、10/3=45.37、10/30=45.967、12/2=43.517、27、1/2=38.02、27.1/21=33.00  
 2/18=30.51 3/2=32.00 3/16=32.12 4/22=33.04 5/28=31.20 7/7=34.51 8/6=36.52 9/14=32.56  
 10/15=32.32 11/20=29.5 12/15=26.78 1/14=24.18 2/16=23.05 3/14=24.79 4/15=28.62 5/23=28.73 6月平均=30.54  
 7月平均=33.26 8月平均=30.29 9月平均=29.92 10月平均=31.29 11月平均=33.03 12月平均=35.8  
 1月平均=35.44 2月平均=36.51